

(20) チンゲンサイ

(ア) 病害

病害虫名及び 防除時期	防除方法及び注意事項
白さび病	薬剤防除 1. 茎葉散布

(イ) 害虫

病害虫名及び 防除時期	防除方法及び注意事項
コナガ	物理的防除 1. 防虫ネット (1) ハウス開口部への防虫ネット (1.5mm 以下) の設置、並びに防虫ネットによるトンネル栽培は、本虫の侵入を防ぎ、被害を軽減できる。 (2) ただし、夏季の生育に影響を及ぼす場合があるので、現地実態に応じて導入を検討する。 薬剤防除 1. 薬剤抵抗性情報 (詳細は 261~277 ページ参照) (1) ピレスロイド系及びベンゾイル尿素系薬剤抵抗性個体群：道内で発生が確認されている。 (2) ジアミド系薬剤感受性低下個体群に対応した防除対策はキャベツの項 (123 ページ) を参照。
キスジトビハムシ  5月中旬～	物理的防除 1. 防虫ネット (1) 防虫ネット (0.8mm 以下) によるトンネル栽培は、本虫の侵入を防ぎ、被害を軽減できる。 (2) ただし、夏季の生育に影響を及ぼす場合があるので、現地実態に応じて導入を検討する。 薬剤防除 1. 茎葉散布

(ウ) クリーン農業技術 (病害虫防除関係分) (チンゲンサイ)

○物理的防除

- ・防虫ネットの利用による被害回避

○生物的防除

- ・生物農薬 (非病原性エルビニア・カロトボーラ、BT菌) の利用

○耕種的防除

- ・ほ場の排水性の改善、連作をしない、窒素の適量施肥 (過不足はともに病害を助長)

する)

- ・排水改善、換気、かん水調整等でのハウス・トンネル内の適正湿度の確保
- ・発病葉の除去などのほ場衛生管理の徹底
- ・土壌酸度の調整による根こぶ病の回避

※注釈

●防虫ネットの利用による食葉性害虫の被害回避

防虫ネットの目合いと侵入防止できる害虫の関係は下表のとおりで、ハウス栽培では開口部のすきま等からの侵入に注意を要する。

夏季には、わずかに株重や草丈、葉色への影響が見られるので、栽培品種も含め現地実態に応じて導入を検討する。

防虫ネットの目合いと侵入防止できる害虫の関係（事例）

目合い (mm)	害虫の種類
4.0	タバコガ類、ヨトウムシ類、モンシロチョウ
1.0	コナガ、アブラムシ類、ナモグリバエ
0.9	スリップス類、オンシツコナジラミ
0.8	キスジノミハムシ
0.6	その他微小害虫

●土壌酸度の調整による根こぶ病回避

根こぶ病は土壌 pH4.6～6.5 で多発するので、6.5 以上になるよう石灰資材等で調整すると軽減される。